



# 「まいにち笑顔 みんなが笑顔」



## 共生社会に「思いやりをもち行動する子」

今日は、中央公園にかかわる最近耳にした嬉しい話を2つします。

一つ目は、遊具（写真）についてです。これは、今年5月に新しく設置された、インクルーシブ遊具といって、性別や国籍、障害の有無にかかわらず、誰でも遊ぶことができる遊具です。中央公園といえば七小の皆さんにとっては庭のようなもので、いつも多くの子たちが1年生から6年生まで学年を問わずに遊んでいます。そんな様子を見ていた地域の方が、この前、校長先生にこんな話をしてくれました。

「七小の子供たちは、高学年の子たちが低学年の子たちをよく見て、本当に仲良く遊んでいますね。」

これを聞いて、いつもたてわり班などで高学年は低学年のお世話をしているからだなと思いました。さらに、こんなことも言っていました。

「まだ小学生にもならない小さい子や障がい者の人が来ると、さっと譲ってあげていました。」

これも素晴らしいですね。自分たちも遊びたいのに、誰でも使える遊具を小学生だけで占有してしまうのではなく、みんなのことを考えて思いやりある行動がとれています。学校でやっていることが地域でもできていて、とても嬉しくなりました。

二つ目はこの写真を見てください。①8月30日、②9月13日、③9月27日  
これは、その日の朝に中央公園で拾ったゴミです。ほとんどがお菓子のゴミですが、お酒の缶や割りばしなどもあります。残念ながら、みんなの公園でお菓子やお弁当などを食べて、そのまま捨てて行ってしまう人がいるようです。

しかし、これらの写真のゴミは、七小の5年生が拾ってくれたものです。その5年生は、SDG'sのニュースを見ていて、環境の大切さを知ったそうです。そこで、自分に取り組める環境問題は何かと考え、身近な中央公園のゴミ拾いを思いついたそうです。そしてそれを一人でなく、多くの人に取り組んでもらいたいと考え、「公園そうじの会」を立ち上げ、クラスの友達に呼びかけました。今は、メンバーが少しずつ増えているそうです。

こちらも、思ったこと、考えたことを頭の中だけで終わらすのではなく、行動に移せるのは素晴らしいです。そういう一人一人が増えていく七小になってきているのは、本当に嬉しいことです。

では最後に、今月の50周年記念クイズを出して終わります。

### 【50周年記念クイズ⑦】

前回のクイズで、開校から10年で児童数が倍以上になり、校舎も2回増築されたことを話しました。では、開校当時の校舎は、今の1階でいうと保健室側からどこまであったでしょうか。

- ① 1・4・5年生の昇降口まで    ② 3年生の昇降口まで    ③ 1年2組の教室まで